カメラ

カメラをご利用になる前に 128
静止画を撮影する .....＜静止画撮影＞ 135
動画を撮影する .....＜動画撮影＞ 137
撮影時の設定を変える 139
画像サイズや画質などを設定する 140
バーコードリーダーを利用する .....＜バーコードリーダー＞ 143
テキストリーダーを利用する .....＜テキストリーダー＞ 146

■著作権・肖像権
お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

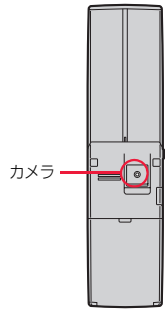
カメラをご利用になる前に

撮影時の留意事項

・撮影前にレンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、柔らかい布できれいに拭いてください。レンズに指紋や油脂などの汚れが付いていると、フォーカスが合わなくなったり、撮影した静止画や動画に汚れが映ったりします。
・撮影時は、レンズに指、髪、ストラップなどがかからないように注意してください。
・撮影するときは、FOMA端末が動かないようにしっかりと持ってください。動くと画像がぶれる原因となります。薄暗いところでは特にぶれやすいのでご注意ください。
・レンズを直射日光に向けて放置しないでください。素子の褪色・焼付きを起こすことがあります。
・蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、帯状の縞模様が上下または左右に流れて見える「フリッカー現象」が起こる場合があり、撮影のタイミングによっては、画像の色合いが変わることがあります。
・日光の反射光などの部分的に極端に輝度の高い部分が含まれる被写体を撮影すると、明るい部分の一部分が黒い斑点になることがありますが、故障ではありません。
・カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
・電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。
・●(撮影)を押してから実際に撮影されるまでに多少の時間差があります。そのため、速く動いている被写体を撮影すると、●(撮影)を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
・microSDカードへ保存中にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。
・ファイル保存中に電源を切った場合など、不完全なファイルが保存されることがあります。
・本体またはmicroSDカードへ保存中に電池パックが抜かれた場合、不確定なデータとなります。
・microSDカードをご利用になるには、別途microSDカードが必要となります。
microSDカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。(P.305参照)

カメラの使用について

カメラを使って静止画や動画を撮影します。
オートフォーカスにより、自動的にフォーカスを合わせることができます。(P.139参照)また、手ブレ補正機能により、ぶれを少なくできます。(P.141参照)
撮影時の主な設定は、機能メニューからだけでなくボタンを操作することで簡単に変更できます。



■撮影時に使用するボタン

アイコンメニュー操作	✉	ホワイトバランス設定	2
機能メニュー呼出	iR	撮影モード選択	3
バーコードリーダー	MENU	画質設定	4
シャッター・保存	●	画像サイズ設定	5
望遠	◁	手ブレ補正(フォトモード時)	6
広角	▷	セルフタイマー設定	7
フォーカス設定切替※1	▽	保存先設定※4	9
オートフォーカス	○	カメラ終了(通常時) フォーカスロック解除(フォーカスロック時)	CLR
カメラモード切替※2	📷	カメラ終了	☎
アイコン表示※3	▲		
明るさ調節	1		

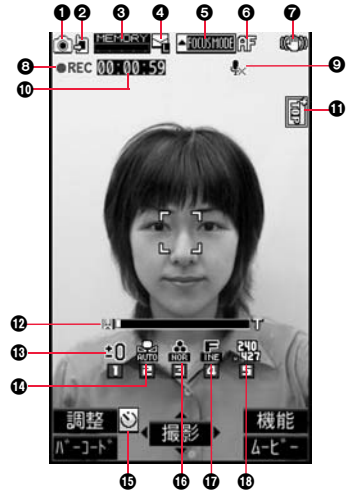
※1 押すごとに「オート」→「接写」→「風景」の順に切り替え
※2 押すごとに「フォトモード」→「ムービーモード」→「連写モード」の順に切り替え
※3 押すごとに「ON」と「OFF」を切り替え
※4 押すごとに「本体」と「microSD」を切り替え

お知らせ

- カメラ起動中は着信／充電ランプが点滅します。点滅は消せません。
- シャッター音の音量を変更したり消去することはできません。また、ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定することもできません。
- 撮影画面で何もボタン操作を行わないと、約3分後にカメラが自動的に終了します。
- 暗い場所で撮影する場合は、「撮影設定」の「撮影モード選択」を「ナイトモード」に設定してください。
- アイコンメニューで操作できるのは、「明るさ調節」「ホワイトバランス設定」「撮影モード選択」「画質設定」「画像サイズ設定」です。

カメラの設定と撮影画面の見かた

撮影画面には、さまざまな設定がアイコンやバーで表示されています。



アイコン・バー名	アイコン	説明	参照先
❶カメラモード		フォトモード	135
		ムービーモード	137
		連写モード(オート・マニュアル・オートブラケット)	135
❷保存先設定		本体:FOMA端末に保存	140
		microSD:microSDカードに保存	

アイコン・バー名	アイコン	説明	参照先
❸記録可能枚数	–	静止画の残り撮影可能枚数 999枚まで表示されます。	—
使用メモリ量バー	MEMORY	ムービーモード時のメモリ使用状況(目安) メモリがいっぱいのときは赤色で表示されます。	—
❹動画容量設定		メール制限(小):500Kバイトまで保存可能	140
		メール制限(大):2Mバイトまで保存可能	
		長時間:長時間撮影可能	
❺フォーカスガイド	FOCUS MODE	フォーカスガイド	—
❻フォーカス設定	AF	オート	140
		接写	
		風景	
❼手ブレ補正		オート	141
❽撮影状態	●REC	動画撮影中	137
❾撮影種別設定		映像のみ録画	141
❿記録可能時間	–	動画の記録可能時間(目安)	—
⓫天地アイコン		静止画や動画の上下方向を示します。	—
⓬ズームバー		望遠・広角の状態	139
⓭明るさ調節	-3~+3	撮影画像の明るさ	140

アイコン・バー名	アイコン	説明	参照先
⓮ホワイトバランス設定	AUTO	オート:ホワイトバランスを自動で調整	140
		晴天:屋外晴天下で撮影するとき	
		曇天:曇天や日陰で撮影するとき	
		電球:電球照明下で撮影するとき	
		蛍光灯:蛍光灯照明下で撮影するとき	
⓯連続撮影枚数	1/9	連写モードのマニュアル時の撮影枚数	141
セルフタイマー設定		ON	143
⓰撮影モード選択	AUTO	標準	140
		ポートレート	
		スポーツ	
		料理	
		風景	
		ナイトモード	
		逆光	
⓱画質設定	N NORMAL	ノーマル:標準画質	140
	F FINE	ファイン:やや高画質	
	S SFINE	スーパーファイン:高画質	

アイコン・バー名	アイコン	説明			参照先
⑱ 画像サイズ（フォト・連写モード）		フォト		2M（1600×1200）	140
				1.4Mワイド（1600×900）	
				1M（1280×960）	
				待受（240×427）	
			連写	VGA（640×480）	
				CIF（352×288）	
				QVGA（240×320）	
				QCIF（176×144）	
				Sub-QCIF（128×96）	
画像サイズ（ムービーモード）		VGA（640×480）			
		HVGAワイド（640×352）			
		QVGA（320×240）			
		QCIF（176×144）			
		Sub-QCIF（128×96）			

静止画撮影の仕様

ファイル形式	JPEG
圧縮方式	Baseline方式
拡張子	jpg
タイトル／ファイル名	保存日時と枚数により自動設定（2008年11月18日10時00分1枚目に撮影した場合） タイトル 「2008/11/18 10:00」 ファイル名 「20081118100000000」（保存先設定：本体） 「P1000001」（保存先設定：microSD）
最大ファイルサイズ	700Kバイト
メール添付・出力	メール添付やmicroSDカードなどによるFOMA端末外への出力可能
保存容量	約111.6Mバイト（本体）

保存できる静止画枚数の目安

保存できる枚数は撮影環境により異なります。
※本体・microSDカードには保存可能なファイル数に上限があります。

■P706iμに保存可能な枚数

画像サイズ＼画質設定	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
2M (1600×1200)	約167枚	約230枚	約285枚
1.4Mワイド (1600×900)	約232枚	約332枚	約446枚
1M (1280×960)	約232枚	約332枚	約446枚
VGA (640×480)	約1143枚	約1360枚	約1587枚
待受 (240×427)	約2041枚	約2597枚	約3500枚
CIF (352×288)	約2041枚	約2597枚	約3500枚
QVGA (240×320)	約2381枚	約3175枚	約3500枚
QCIF (176×144)	約3500枚	約3500枚	約3500枚
Sub-QCIF (128×96)	約3500枚	約3500枚	約3500枚

●削除可能なプリインストールデータを削除した場合の保存可能枚数です。

■microSDカード(64Mバイト)に保存可能な枚数

画像サイズ＼画質設定	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
2M (1600×1200)	約89枚	約122枚	約152枚
1.4Mワイド (1600×900)	約122枚	約172枚	約223枚
1M (1280×960)	約122枚	約172枚	約223枚
VGA (640×480)	約608枚	約724枚	約845枚
待受 (240×427)	約1087枚	約1383枚	約1902枚
CIF (352×288)	約1087枚	約1383枚	約1902枚
QVGA (240×320)	約1268枚	約1691枚	約2174枚
QCIF (176×144)	約2536枚	約3044枚	約3805枚
Sub-QCIF (128×96)	約3805枚	約5073枚	約5073枚

動画撮影の仕様

ファイル形式	MP4、ASF
符号化方式	映像：MPEG4　音声：AMR、G.726
拡張子	3gp、mp4、asf
タイトル／ファイル名	撮影日時により自動設定(2008年11月18日10時00分に撮影した場合) タイトル 「2008/11/18 10:00」 ファイル名 「200811181000」(保存先設定：本体) 「MOL001」(保存先設定：microSD)
最大ファイルサイズ	2Mバイト(保存先設定：本体) 撮影時にiモーションメール添付可能なサイズに制限できます。(P.140参照)
メール添付・出力	メール添付やmicroSDカードなどによるFOMA端末外への出力可能
保存容量	約111.6Mバイト(本体)

録画時間の目安

撮影できる時間は撮影環境により異なります。撮影画面に表示される記録可能時間・容量も参考にしてください。

■P706iμに録画可能な時間

画像サイズ	動画容量設定	撮影種別設定	1回あたりの録画可能時間			総録画可能時間		
			画質設定			画質設定		
			スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
VGA (640×480)	メール制限(小)	通常	約4秒	約5秒	約8秒	約13分	約17分	約26分
		映像のみ	約4秒	約5秒	約8秒	約13分	約18分	約27分
		音声のみ	約305秒			約1145分		
	メール制限(大)	通常	約16秒	約20秒	約30秒	約13分	約17分	約26分
		映像のみ	約16秒	約20秒	約30秒	約13分	約18分	約27分
		音声のみ	約20分			約1145分		
HVGAワイド (640×352)	メール制限(小)	通常	約5秒	約8秒	約10秒	約17分	約26分	約35分
		映像のみ	約5秒	約8秒	約10秒	約18分	約27分	約36分
		音声のみ	約305秒			約1145分		
	メール制限(大)	通常	約20秒	約30秒	約40秒	約17分	約26分	約35分
		映像のみ	約20秒	約30秒	約40秒	約18分	約27分	約36分
		音声のみ	約20分			約1145分		
QVGA (320×240)	メール制限(小)	通常	約5秒	約10秒	約15秒	約17分	約35分	約53分
		映像のみ	約5秒	約10秒	約15秒	約18分	約36分	約54分
		音声のみ	約305秒			約1145分		
	メール制限(大)	通常	約20秒	約39秒	約59秒	約17分	約35分	約53分
		映像のみ	約20秒	約40秒	約60秒	約18分	約36分	約54分
		音声のみ	約20分			約1145分		
QCIF (176×144)	メール制限(小)	通常	約10秒	約35秒	約69秒	約35分	約129分	約255分
		映像のみ	約10秒	約39秒	約78秒	約36分	約145分	約291分
		音声のみ	約305秒			約1145分		
	メール制限(大)	通常	約39秒	約141秒	約279秒	約35分	約129分	約255分
		映像のみ	約40秒	約159秒	約318秒	約36分	約145分	約291分
		音声のみ	約20分			約1145分		
Sub-QCIF (128×96)	メール制限(小)	通常	約19秒	約62秒	約122秒	約68分	約232分	約455分
		映像のみ	約20秒	約78秒	約156秒	約72分	約291分	約582分
		音声のみ	約305秒			約1145分		
	メール制限(大)	通常	約75秒	約254秒	約497秒	約68分	約232分	約455分
		映像のみ	約80秒	約318秒	約10分	約72分	約291分	約582分
		音声のみ	約20分			約1145分		

●削除可能なプリインストールデータを削除した場合の録画可能時間です。

つづく

■microSDカード(64Mバイト)に録画可能な時間

画像サイズ	動画容量設定	撮影種別設定	1回あたりの録画可能時間			総録画可能時間		
			画質設定			画質設定		
			スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
VGA (640×480)	長時間	通常	約447秒	約577秒	約14分	約447秒	約577秒	約14分
		映像のみ	約462秒	約10分	約15分	約462秒	約10分	約15分
		音声のみ	約180分			約624分		
HVGAワイド (640×352)		通常	約577秒	約14分	約18分	約577秒	約14分	約18分
		映像のみ	約10分	約15分	約20分	約10分	約15分	約20分
		音声のみ	約180分			約624分		
QVGA (320×240)		通常	約577秒	約18分	約26分	約577秒	約18分	約26分
		映像のみ	約15分	約20分	約30分	約15分	約20分	約30分
		音声のみ	約180分			約624分		
QCIF (176×144)		通常	約18分	約60分	約96分	約18分	約60分	約96分
		映像のみ	約20分	約80分	約160分	約20分	約80分	約160分
		音声のみ	約180分			約624分		
Sub-QCIF (128×96)		通常	約34分	約96分	約137分	約34分	約96分	約137分
		映像のみ	約40分	約160分	約180分	約40分	約160分	約320分
		音声のみ	約180分			約624分		

<静止画撮影>

静止画を撮影する

撮影した静止画は本体の「マイピクチャ」内の「カメラ」フォルダまたはmicroSDカードに保存されます。

- 保存先を選択するには「保存設定(保存先設定)」、「保存先フォルダ選択」参照。
- 保存した静止画を再生するには、P.282参照。

静止画を撮影する

1 (カメラ)を押す

- 「(メニュー)▶LifeKit▶カメラ」の操作を行うとカメラメニューが表示されます。カメラメニューから「フォトモード」を選択しても起動できます。
- カメラメニューをデスクトップに貼り付けておくこともできます。(P.109参照)
- 天地アイコンが表示されている場合は、アイコンに合わせてFOMA端末の向きを変えてください。

撮影画面

2 (●)(撮影)を押す

静止画を撮影します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。

- 「フォーカス設定」を「オート」にしていると、フォーカス動作後に撮影されます。
- 「自動保存設定」を「ON」に設定している場合は、ポストビュー画面は表示されず自動的に保存されます。

3 (●)(保存)を押す

撮影した静止画が「カメラ」フォルダに保存されます。

- 鏡像(左右反転)で保存する場合は、(i-αppli)(機能)を押して「鏡像保存」を選択します。
- 「保存先設定」を「microSD」に設定していると、「保存先フォルダ選択」で設定しているフォルダに保存されます。
- (CLR)を押すと撮影した静止画を取り消して撮影画面に戻ります。

ポストビュー画面

連続撮影する

静止画を連続撮影します。撮影枚数やオート撮影時の撮影間隔を設定できます。(P.141参照)

1 (カメラ)▶(カメラ)(ムービー)▶(カメラ)(連写)

- 「オート」「マニュアル」「オートブラケット」のうち、前回起動したモードで起動します。連写モードを変更するには「連写設定」の「連写モード設定」参照。
- 天地アイコンが表示されている場合は、アイコンに合わせてFOMA端末の向きを変えてください。

撮影画面

2 ●(撮影)を押す

連続撮影を開始します。

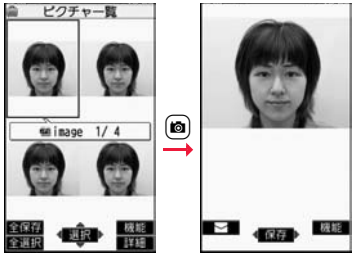
「連写モード設定」を「マニュアル」に設定している場合は、撮影枚数分●(撮影)を押します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。

- 「フォーカス設定」を「オート」にしていると、フォーカス動作後に撮影されます。
- 撮影を途中で中止する場合はCLRを押します。「連写モード設定」を「オート」または「オートブラケット」モードで撮影している場合は、✉(中止)を押しても撮影を中止できます。また、FOMA端末を閉じても撮影を中止します。
- 「自動保存設定」を「ON」に設定している場合は、ポストビュー画面は表示されず自動的に保存されます。

3 1枚だけ選択して保存する場合

静止画を選んで📷(詳細)▶●(保存)

- 詳細表示画面で📷を押すと、前または次の静止画を表示します。
- 鏡像(左右反転)で保存する場合は、iR(機能)を押して「鏡像保存」を選択します。



ポストビュー画面　詳細表示画面

複数の静止画を選択して保存する場合

保存したい静止画にチェック▶✉(保存)▶保存・鏡像保存

すべての静止画を保存する場合

✉(全保存)▶保存・鏡像保存

撮影した静止画が「カメラ」フォルダに保存されます。

- ポストビュー画面でCLRを押すと撮影した静止画を取り消して撮影画面に戻ります。
- 「保存先設定」を「microSD」に設定していると、「保存先フォルダ選択」で設定しているフォルダに保存されます。

お知らせ

- 「画像サイズ設定」や「表示サイズ設定」により画質が粗くなることがあります。
- 撮影時にはマナーモードなどの設定に関わらず「シャッター音選択」で選択した音が鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。
- 撮影中にメールを受信しても撮影動作は継続されます。未読メールアイコンは表示されますが、メール受信画面は表示されません。
- 撮影中にマルチタスクによりカメラ機能が終了した場合などは、未保存の静止画は削除されます。
- 撮影時に動くと画像がぶれる原因となりますので撮影の際はFOMA端末をしっかり固定してください。
- フォトモード・連写モードのマニュアルは撮影時に着信／充電ランプが点滅します。連写モードのオート・オートブラケットは着信／充電ランプが点灯します。

フォトモードのポストビュー画面・連写モードの詳細表示画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
保存	P.135、P.136参照
鏡像保存	P.135、P.136参照
iモードメール添付	撮影した静止画を保存し、iモードメールに添付します。P.174手順2へ進みます。 ●✉(✉)を押してもiモードメールを作成できます。

機能メニュー	操作・補足
ピクチャ貼付	待受画面などに貼り付けて表示します。フォトモード時のみ設定できます。 P.283「ピクチャ貼付」へ進みます。 ●「保存先設定」を「microSD」に設定していても、本体に保存されます。
フレーム取替え	フレームを合成して撮影した静止画のフレームを取り替えます。フォトモード時のみ設定できます。 ▶フレームを選択 ●○を押すと、前または次のフレームを表示します。 ●フレームを選択し直す場合は✉(取消)を押します。 ▶●(確定) ●フレームの解除はできません。
正像表示・鏡像表示	正像表示と鏡像(左右反転)表示を切り替えます。
保存先設定	P.140参照
表示サイズ設定	P.141参照
ファイル制限	P.142参照
アイコン表示	P.141参照
取り消し	撮影した静止画を保存しません。

連写モードのポストビュー画面の機能メニュー

●ポストビュー画面で静止画を選んで●(選択)を押すと、「☑」が付きます。再度●(選択)を押すと選択は解除されます。

機能メニュー	操作・補足
保存	P.136参照
全保存&自作アニメ	撮影した全静止画を保存し、自作アニメとして登録します。 ▶保存 ●鏡像(左右反転)で保存するには「鏡像保存」を選択します。 ▶<未登録>
保存先設定	P.140参照
正像表示・鏡像表示	正像表示と鏡像(左右反転)表示を切り替えます。
ファイル制限	ポストビュー画面の静止画のファイル制限を設定します。 ▶なし・あり ●ファイル制限についてはP.142参照。
取り消し	撮影した静止画を保存しません。

お知らせ

<全保存&自作アニメ>

●「保存先設定」を「microSD」に設定しているときは、この機能は使用できません。

●1枚だけ撮影した場合は、この機能は使用できません。

<動画撮影>

動画を撮影する

撮影した動画は本体の「iモーション」内の「カメラ」フォルダまたはmicroSDカードに保存されます。

●保存先を選択するには「保存設定(保存先設定)」、「保存先フォルダ選択」参照。

●保存した動画を再生するには、P.290参照。

1 ●▶●(ﾑｰﾋﾞｰ)

●「MENU」▶LifeKit▶カメラ」の操作を行うとカメラメニューが表示されます。カメラメニューから「ムービーモード」を選択しても起動できます。

●カメラメニューをデスクトップに貼り付けておくこともできます。(P.109参照)

●天地アイコンが表示されている場合は、アイコンに合わせてFOMA端末の向きを変えてください。

撮影画面

2 ●(撮影)を押す

録画を開始します。

- 「フォーカス設定」を「オート」にしていると、フォーカス動作後に撮影が始まります。撮影中は「フォーカス設定」に関わらず、自動的に被写体にフォーカスを合わせます。

3 ●(終了)を押す

録画を終了します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。

- 録画中に電話がかかってきた場合、電池切れアラームが鳴った場合、FOMA端末を閉じた場合は、自動的に録画が終了します。
- 「自動保存設定」を「ON」に設定している場合や「動画容量設定」を「長時間」に設定している場合は、ポストビュー画面は表示されず自動的に保存されます。「保存先設定」を「microSD」に設定している場合、「保存先フォルダ選択」で設定しているフォルダに保存されます。

4 ●(保存)を押す

撮影した動画が「カメラ」フォルダに保存されます。

- CLRを押すと撮影した動画を取り消して撮影画面に戻ります。

ポストビュー画面

撮影中に録画が終了したり画質が悪くなったときは

データの保存や削除を繰り返しているmicroSDカードを使用していると、データの書き込み速度が遅くなり、途中で録画が終了したり画質が悪くなったりすることがあります。

以下の操作を行うと改善される場合があります。

1.microSDカード内のすべてのデータを、そのままパソコンにコピーする。

- パソコンの設定で、隠しフォルダや隠しファイルが表示されない設定になっている場合は、表示される設定に変更してから操作してください。設定の変更方法についてはお使いのパソコンの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
- パソコン上にコピーしたデータのフォルダ名やファイル名は変更しないでください。

2.パソコンでmicroSDカード内のすべてのデータを削除する。

- フォーマットしないでください。データが再生できなくなる場合があります。

3.手順1でコピーしておいたデータを、microSDカードにコピーして戻す。

- 必ず同じmicroSDカードにコピーして戻してください。他のmicroSDカードに保存しても、著作権のあるデータは再生できません。

お知らせ

- 撮影開始時・終了時にはマナーモードなどの設定に関わらず「シャッター音選択」で選択した音が鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。
- 録画中・録音中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。
- 録画中は着信／充電ランプが点滅します。
- 撮影中、遠近の差のあるものに被写体を変えると、ピントが合うまでに時間がかかります。
- 被写体によりピントが合いにくい場合は、被写体を変えるとピントが合う場合があります。
- 暗いところではオートフォーカスの動作は遅くなります。

ムービーモードのポストビュー画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
再生	P.290参照
保存	P.138参照

機能メニュー	操作・補足
iモードメール添付	撮影した動画を保存し、iモードメールに添付します。 P.174手順2へ進みます。 ●(✉)(■)を押してもiモードメールを作成できます。
待受画面設定	撮影した動画を保存し、待受画面に設定します。
保存先設定	P.140参照
表示サイズ設定	P.141参照
ファイル制限	P.142参照
アイコン表示	P.141参照
取り消し	撮影した動画を保存しません。

お知らせ

<待受画面設定>

- 動画によっては、正しく表示されない場合があります。
- 待受画面に設定した動画の再生についてはP.99参照。

撮影時の設定を変える

撮影時にカメラの設定をします。

ズームを使う

カメラで写している映像を広角(Wide)・望遠(Tele)で表示します。
各サイズにおける最大倍率は、以下のとおりです。

カメラモード	サイズ	ズーム段階	最大倍率
フォト	2M(1600×1200)	1段階	約1.0倍
	1.4Mワイド(1600×900)	1段階	約1.0倍
	1M(1280×960)	6段階	約1.2倍
	VGA(640×480)	11段階	約1.8倍
	待受(240×427)	31段階	約3.7倍
	CIF(352×288)	31段階	約3.4倍
	QVGA(240×320)	31段階	約5.0倍
	QCIF(176×144)	31段階	約6.8倍
	Sub-QCIF(128×96)	31段階	約9.3倍
連写	VGA(640×480)	6段階	約2.5倍
	CIF(352×288)	31段階	約3.4倍
	QVGA(240×320)	31段階	約5.0倍
	QCIF(176×144)	31段階	約6.8倍
	Sub-QCIF(128×96)	31段階	約9.3倍
ムービー	VGA(640×480)	6段階	約2.5倍
	HVGAワイド(640×352)	6段階	約2.5倍
	QVGA(320×240)	31段階	約3.7倍
	QCIF(176×144)	31段階	約6.8倍
	Sub-QCIF(128×96)	31段階	約9.3倍

1 撮影画面▶(○)でズーム倍率を調節

お知らせ

- 広角・望遠にすると画質は多少変化することがあります。
- 以下の場合、望遠は解除されます。
  - ·(☎)を押してカメラを終了したとき
  - ·サイズを変更したとき
  - ·カメラモードを切り替えたとき

オートフォーカスを使う

フォーカスの状態を確認してから撮影します。「フォーカス設定」を「接写」や「風景」にしていてもオートフォーカスを使えます。

- オートフォーカスは約10cm以上の距離でフォーカスが合います。

1 撮影画面▶(○)

フォーカスが合うと確認音が鳴って枠が緑色になり、フォーカスがロックされます。
フォーカスが合わなかった場合は枠が赤色になります。

- フォーカスを設定し直す場合は(CLR)を押します。

お知らせ

- ムービーモード時に「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定している場合は、オートフォーカスは使用できません。

画像サイズや画質などを設定する

撮影画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
カメラモード切替	**▶モードを選択** ●「連写モード」を選択した場合は、「オート」「マニュアル」「オートブラケット」のうち、前回起動していたモードで起動します。
画像サイズ設定	**▶画像サイズを選択** ●えチャット撮影時は「QCIF(176×144)」「Sub-QCIF(128×96)」のみ選択できます。
動画容量設定 [ムービーモードのみ]	**▶項目を選択** **メール制限(小)** . . .500Kバイトまで撮影できます。 **メール制限(大)** . . .2Mバイトまで撮影できます。 **長時間** . . . . . .長時間撮影できます。microSDカードに保存します。
画質設定	保存する際の画質を設定します。 **▶画質を選択**
撮影設定 **(明るさ調節)** カメラ起動時 ±0	−3(暗い)〜+3(明るい)で調節します。 **▶明るさ調節▶明るさを選択**
撮影設定 **(ホワイトバランス設定)** カメラ起動時 オート	カメラで写している映像の発色を調整して、自然な色合いに設定します。 **▶ホワイトバランス設定▶項目を選択** **オート** . . . . ホワイトバランスを自動調整するとき **晴天** . . . . . 屋外晴天下で撮影するとき **曇天** . . . . . 曇天や日陰で撮影するとき **電球** . . . . . 電球照明下で撮影するとき **蛍光灯** . . . . 蛍光灯照明下で撮影するとき
撮影設定 **(色調切替)** カメラ起動時 通常	**▶色調切替▶色調を選択** **通常** . . . 標準の色調で撮影します。 **セピア** . . セピア調で撮影します。 **白黒** . . . 白黒調で撮影します。
撮影設定 **(撮影モード選択)** カメラ起動時 標準	撮影する際に、場面に適した撮影モードを設定します。 **▶撮影モード選択▶撮影モードを選択** **標準** . . . . . 標準のモードです。 **ポートレート** . . 人物を撮影するのに適したモードです。 **スポーツ** . . . . . スポーツ選手など動く被写体を撮影するのに適したモードです。 **料理** . . . . . 料理などを撮影するのに適したモードです。 **風景** . . . . . 風景を撮影するのに適したモードです。 **ナイトモード** . . 夜など暗い場所で撮影するのに適したモードです。 **逆光** . . . . . 逆光の際の撮影に適したモードです。
撮影設定 **(フォーカス設定)** カメラ起動時 オート	フォーカスを設定します。 **▶フォーカス設定▶項目を選択** **オート** . . . . 撮影前に自動的にフォーカスを合わせます。 (P.139参照) **接写** . . . . . 近くの物にフォーカスを合わせます。 **風景** . . . . . 遠い風景にフォーカスを合わせます。
撮影設定 **(シャッター音選択)**	シャッター音を設定します。フォトモード時(連写モード時)とムービーモード時それぞれ個別のシャッター音が設定できます。 **▶シャッター音選択▶シャッター音を選択** ●選択中は、確認のためシャッター音が鳴ります。
撮影設定 **(ちらつき補正設定)**	撮影時の撮影画面のちらつきを抑制します。 **▶ちらつき補正設定** **▶自動・モード1(50Hz地域)・モード2(60Hz地域)**
保存設定 **(保存先設定)**	撮影した静止画や動画の保存先を設定します。 **▶保存先設定▶本体・microSD**

機能メニュー	操作・補足
保存設定（自動保存設定）	撮影後、自動的に保存するかどうかを設定します。「保存先設定」が「本体」のときは「カメラ」フォルダ内、「保存先設定」が「microSD」のときは「保存先フォルダ選択」で設定したフォルダ内に保存されます。 **▶自動保存設定▶ON・OFF**
保存設定（ファイル制限）	P.142参照
手ブレ補正 ［フォトモードのみ］	撮影するときの手ブレを補正します。 **▶オート・OFF**
セルフタイマー設定	P.143参照
特殊撮影（フレーム撮影） カメラ起動時 OFF ［フォトモードのみ］	フレームを合成して撮影します。 **▶フレーム撮影▶ON・OFF▶フレームを選択**
特殊撮影（マジックスタンプ） カメラ起動時 OFF ［フォト・ムービーモード］	人物の顔などにマジックスタンプを貼り付けて撮影します。マジックスタンプは適切な位置に自動配置されます。 **▶マジックスタンプ▶ON・OFF▶マジックスタンプを選択**
連写設定（連写モード設定） ［連写モードのみ］	**▶連写モード設定▶モードを選択** **オート** . . .「撮影間隔」、「撮影枚数」で設定した間隔、枚数を自動で撮影します。 **マニュアル** . . .「撮影枚数」で設定した枚数を1枚ずつ手動で撮影します。 **オートブラケット** . . . 約0.3秒間隔で9枚の静止画を1枚ずつ明るさや色調を変えて自動で撮影します。 ●「マニュアル」を選択すると連続撮影枚数が表示されます。

機能メニュー	操作・補足
連写設定（撮影間隔） ［連写モードのみ］	**▶撮影間隔▶撮影間隔を選択** ●連写モードのオート時のみ設定できます。
連写設定（撮影枚数） ［連写モードのみ］	**▶撮影枚数▶撮影枚数（枚）を入力** ●「画像サイズ設定」が「VGA（640×480）」または「CIF（352×288）」に設定されている場合、「撮影枚数」は変更できません。 ●連写モードのオート・マニュアル時のみ設定できます。
撮影種別設定 カメラ起動時 通常 ［ムービーモードのみ］	動画撮影時に映像と音声の両方、またはどちらか一方のみを記録するように設定します。 **▶通常・映像のみ・音声のみ**
表示サイズ設定	撮影画面で静止画・動画を本来のサイズで表示（等倍表示）するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 **▶等倍表示・画面サイズで表示**
共通再生モード ［ムービーモードのみ］	iモードメールの添付に適した撮影サイズに設定します。 **▶YES** ●画像サイズ設定が「QCIF」、動画容量設定が「メール制限（小）」、画質設定（ムービーモード）が「ノーマル」に設定されます。
アイコン表示	アイコンを表示するかどうかを設定します。 **▶ON・OFF**
保存容量確認	保存容量（目安）／件数を表示します。

お知らせ

＜動画容量設定＞

●「長時間」に設定した場合、「保存先設定」が「microSD」に設定されます。

お知らせ

＜撮影設定＞

- ナイトモード時は露光が長くなり画像がぶれやすくなるので、ご注意ください。
- ちらつき補正設定を「自動」に設定した場合、自動調整に時間がかかることがあります。その場合、撮影場所の電源周波数に合わせてモード1・モード2に切り替えてください。
- 「明るさ調節」「ホワイトバランス設定」「色調切替」「フォーカス設定」の設定を変更しても、「撮影モード選択」を変更すると、それぞれの設定は、各撮影モードに適した設定になります。

＜保存設定＞

- microSDカード内の保存先を設定するには「保存先フォルダ選択」参照。
- 「動画容量設定」を「長時間」に設定した場合は、「保存先設定」は「microSD」に設定され、「保存設定」は操作できません。
- 「自動保存設定」が「ON」の場合、「保存先フォルダ選択」が設定されていない場合や設定されたフォルダが削除された場合は、最新のフォルダに保存されます。

＜手ブレ補正＞

- 本機能はあくまでも手ブレを軽減するものであり、効果は被写体や条件によって異なります。
- 以下のような場合は、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
  ・手ブレが大きいとき　・ズームを使っているとき
  ・動きのある被写体を撮影しているとき
- 「撮影モード選択」を「スポーツ」または「ナイトモード」に設定した場合は、「手ブレ補正」は無効になります。
- 被写体が動いていて、被写体の動いている箇所に残像が残る場合や、全体にノイズ感が出る場合があります。このような場合は、本機能を「OFF」にしてください。
- 本機能を有効にした場合、手ブレ補正処理を行うため撮影後の処理時間が約2秒間長くなることがあります。

＜特殊撮影＞

- 「画像サイズ設定」を「VGA（640×480）」以上に設定している場合はフレームを合成できません。
- フレームを合成して撮影した静止画は、鏡像で保存できません。
- マジックスタンプはフォトモードの場合、「VGA（640×480）」以上に設定していると貼り付けできません。

お知らせ

＜連写設定＞

- 画像サイズによって設定できる枚数は異なります。設定できる枚数については以下のとおりです。
  VGA（640×480）　：4枚
  CIF（352×288）　：4枚
  QVGA（240×320）　：5枚～10枚
  QCIF（176×144）　：5枚～20枚
  Sub-QCIF（128×96）：5枚～20枚

＜表示サイズ設定＞

- 「画像サイズ設定」を「QVGA（320×240）」以上に設定している場合は、常に「画面サイズで表示」になり、変更できません。
- 撮影画面での設定はポストビュー画面にも反映されますが、ポストビュー画面での設定は撮影画面には反映されません。

＜共通再生モード＞

- 「動画容量設定」を「長時間」に設定している場合は操作できません。

ファイル制限

撮影した静止画や動画などをメールに添付して送信したとき、受信者のFOMA端末から再配布（添付、転送）できるかどうかを設定します。「あり」に設定すると、再配布はできなくなります。

1 撮影画面▶(機能)▶保存設定▶ファイル制限
または
フォトモード、ムービーモード、えチャットのポストビュー画面・連写モードの詳細表示画面▶(機能)▶ファイル制限

2 なし・あり

お知らせ

- 「ファイル制限」を「あり」にした場合でも、赤外線通信機能で送信したり、microSDカードにコピーすることで静止画や動画を送り先の携帯電話から出力できます。

お知らせ

- 保存後もP.284「ファイル制限」で設定を変更できます。
- ムービーモード時に「動画容量設定」を「長時間」に設定した場合は、「ファイル制限」は「なし」になります。

セルフタイマー設定

カメラ起動時	OFF

1 撮影画面▶(機能)▶セルフタイマー設定▶ON・OFF▶作動時間(秒)を入力

- 「01」～「15」の2桁を入力します。

セルフタイマー設定を「ON」に設定したときは

撮影画面に「」が表示されます。

(撮影)を押すと確認音が鳴り、「」が点滅します。撮影の約5秒前までは約1秒ごとに着信／充電ランプが点滅します。撮影の約5秒前からは約0.5秒ごとに着信／充電ランプが点滅し、約1秒ごとに確認音が鳴ります。設定している作動時間の経過後に撮影されます。

- 撮影を中止する場合は、着信／充電ランプが点滅中に(中止)または(CLR)を押します。撮影を中止しても「セルフタイマー設定」は「ON」のままです。
- セルフタイマー作動中に(撮影)を押すとすぐに撮影できます。
- 撮影時にはマナーモードなどの設定に関わらず確認音が鳴ります。確認音の音量は変更できません。

お知らせ

- 連写モードのマニュアル時はセルフタイマーで撮影できません。
- 撮影が終了するとセルフタイマーは「OFF」になります。

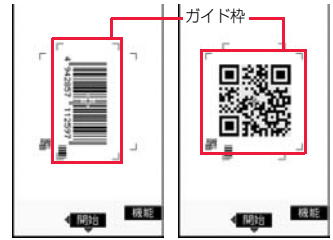
<バーコードリーダー>

バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってJANコードやQRコードを読み取り、データとして登録できます。
データを使って電話をかけたり、iモードメールの作成、インターネット接続などができます。

■バーコードリーダーで読み取りを行うときは

- できるだけコードがガイド枠内に大きく写るようにします。
- オートフォーカスは約10cm以上の距離でフォーカスが合います。フォーカスが外れた状態で読み取りを行った場合は、認識率が低下します。
- コードに対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。



コード読取画面

■JANコードとは

幅の異なる縦の線(バー)で数字を表現しているバーコードです。
読み取れるのは8桁(JAN8)または13桁(JAN13)のJANコードです。

- FOMA端末で読み取ると「4942857112597」と表示されます。

■QRコードとは

縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。
読み取ると、漢字・カナ・英数字・絵文字が表示されます。画像やメロディ情報を持つQRコードもあります。

- FOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

コード読み取り

バーコードリーダー起動時	明るさ：±0 ズーム：拡大

読み取ったデータは5件まで登録できます。
最大で16個まで分割されたQRコードを読み取れます。

1 MENU▶LifeKit▶バーコードリーダー▶コード読み取り

バーコードリーダーメニューが表示されます。
- バーコードリーダーメニューをデスクトップに貼り付けておくこともできます。(P.109参照)

2 読み取りたいコードをガイド枠に合わせて●を押す

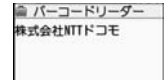
フォーカスロックされると確認音が鳴り、十字マークが緑色になります。
- ●(機能)を押して「明るさ調節」を選択すると、明るさを−3(暗い)〜+3(明るい)で調節できます。
- ○を押すと縮小表示され、○を押すと元の表示に戻ります。

3 ●(開始)を押す

コードが読み取られます。(シャッター音は鳴りません。)
- 読み取りを中止する場合はCLRまたは●(中止)を押します。
- 読み取りが完了すると読み取り完了音が鳴り、着信／充電ランプが点灯します。音量は固定されており変更できません。ただし、マナーモードや「着信音量」の「電話」が「消去」に設定中は音が鳴りません。
- メロディのデータは「♪」、対応していないデータや破損しているデータは「🖼」や「🖼」で表示されます。
- 文字入力(編集)中の場合はコード読取結果画面は表示されず、読み取ったコードの文字データ確認画面が表示されます。読み取った文字を入力する場合は●(確定)を押します。破棄する場合は✉(取消)またはCLRを押します。表示できない文字は半角スペースに置き換えて表示されます。また、文字データのないコードを読み取った場合、正しく表示されません。
- 読み取り中に一定の時間が経過しても読み取れない場合は、読み取りが中断され、コード読取画面に戻ります。
- 読み取ったコードが分割されたQRコードの一部の場合、「OK」を選択して手順2〜手順3を繰り返して残りのデータを読み取ります。

4 (機能)▶認識結果保存▶OK

読み取ったデータが登録されます。



コード読取結果画面

お知らせ
- JANコードとQRコード以外のバーコード・二次元コードは読み取れません。
- 読み取りに時間がかかる場合があります。読み取り中は、FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- 傷、汚れ、破損、印刷物の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては、正しく読み取りできない場合があります。
- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。

コード読取結果画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
認識結果保存	P.144参照
一覧表示	登録データが1件以上ある場合に、バーコードリーダー一覧画面を表示します。
Internet	選択中のURLにiモードまたはフルブラウザで接続します。 ▶iモード・フルブラウザ▶YES ●URLを選んで●(選択)を押しても接続できます。
iモードメール作成	選択中のメールアドレスを宛先としたiモードメールを作成します。P.174手順3へ進みます。 ●メールアドレスを選んで●(選択)を押してもiモードメールを作成できます。 ●コード読取結果画面で「メール作成」を選択すると、新規メールの宛先、題名、本文にコード読取結果画面のデータが入力されます。

機能メニュー	操作・補足
電話発信	選択中の電話番号に音声電話発信、テレビ電話発信します。 ▶**発信方法を選択** ●「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。 ●「SMS作成」を選択すると電話番号を宛先としたSMSを作成します。P.214手順3へ進みます。 ●電話番号を選んで●(選択)を押しても発信できます。 ▶**発信** ●国際電話をかける場合は「国際ダイヤルアシスト」を選択します。(P.59参照) ●発信者番号通知を設定する場合は「発番号設定」を選択します。(P.56手順2参照)
電話帳登録	P.82参照
Bookmark登録	サイト名とURLをブックマークに登録します。 ▶YES ●「ページタイトル」を選択するとタイトルを編集できます。 ▶OK▶**登録したいフォルダを選択**
画像保存	読み取った画像データを保存して、待受画面などに設定します。 ▶**保存したいフォルダを選択** P.160手順3へ進みます。 ●保存している画像がいっぱいのときはP.163参照。
メロディ保存	読み取ったメロディデータを保存して、着信音などに設定します。 ▶YES▶**保存したいフォルダを選択** P.160手順2へ進みます。 ●「♪」を選択するとメロディが再生されます。 ●保存しているメロディがいっぱいのときはP.163参照。
トルカ保存	読み取ったトルカデータを保存します。 ▶**保存したいフォルダを選択** ●「◇」を選択するとトルカが表示されます。 ●保存しているトルカがいっぱいのときはP.163参照。

機能メニュー	操作・補足
iアプリ起動	読み取ったデータからiアプリを起動します。 ▶YES
コピー	▶**コピーする始点を選択**▶**コピーする終点を選択** ●全角5000文字/半角10000文字までコピーできます。 ●コピーした文字を貼り付けるにはP.382参照。

お知らせ

＜Internet＞
●URLは、バーコードリーダーでは半角512文字、テキストリーダーでは半角256文字まで表示されます。
＜iモードメール作成＞
●入力できない文字が含まれていた場合、宛先は入力されません。また、本文は文字がスペースになることがあります。
＜電話発信＞
●「110」「119」「118」を読み取っても緊急通報することはできません。
＜Bookmark登録＞
●URLは半角512文字まで表示され、先頭から256文字のみ登録できます。
＜画像保存＞
●保存された画像のファイル名、タイトル名は「imageXXX」(XXXは数字)となります。
＜メロディ保存＞
●保存されたメロディのファイル名は「melodyXXX」(XXXは数字)となります。
●タイトルが付けられていないメロディはファイル名がタイトルになります。
●メロディを再生する際、「着信音量」の「電話」で設定した音量で再生されます。

保存データー覧を表示する

1 (MENU)▶**LifeKit**▶**バーコードリーダー**▶**保存データー覧**

登録済みのデータのタイトルが登録時の新しいものから順に表示されます。
●タイトルを選択すると、コード読取結果画面が表示されます。

バーコードリーダー一覧画面

つづく

お知らせ

●読み取ったデータのタイトルは以下のようになります。
(例)2008年11月18日10時00分に保存した場合
タイトル名:20081118_1000_0000
・同じ日時で複数保存した場合は下4桁の数字が「9999」まで順に増えます。

バーコードリーダー一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	▶タイトルを入力 全角9文字/半角18文字まで入力できます。
結果表示	登録されているデータのコード読取結果画面が表示されます。
削除 (1件削除)	▶1件削除▶YES
削除 (全削除)	▶全削除▶端末暗証番号を入力▶YES

<テキストリーダー>

テキストリーダーを利用する

カメラを使って、印刷されている電話番号やメールアドレス、URLなどの英数記号を読み取り、文字情報として登録できます。文字情報を使って電話をかけたり、iモードメールの作成、インターネット接続などができます。

■テキストリーダーで読み取りを行うときは

●できるだけ文字列がガイド枠内に大きく写るようにします。
●オートフォーカスは約10cm以上の距離でフォーカスが合います。フォーカスが外れた状態で読み取りを行った場合は、認識率が低下します。
●文字列に対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。

テキスト読取画面

文字を読み取る

テキストリーダー起動時	ズーム:拡大

読み取ったデータは、1件につき半角256文字、8件まで登録できます。一度に読み取り可能な文字数は半角50文字までで、長い文字列は分割して読み取れます。

1 (MENU)▶LifeKit▶テキストリーダー▶テキスト読み取り

テキストリーダーメニューが表示されます。
●テキストリーダーメニューをデスクトップに貼り付けておくこともできます。(P.109参照)

2 読み取りたい文字をガイド枠に合わせて(撮影)を押す

フォーカスロックされると確認音が鳴り、ガイド枠が緑色になります。
●(撮影)を押すと縮小表示され、(撮影)を押すと元の表示に戻ります。

3 ●(撮影)を押す

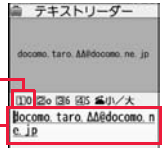
文字が読み取られます。(シャッター音は鳴りません。)

- 読み取りを中止する場合は(CLR)を押します。
- 読み取りが完了すると読み取り完了音が鳴り、着信／充電ランプが点灯します。音量は固定されており変更できません。ただし、マナーモードや「着信音量」の「電話」が「消去」に設定中は音が鳴りません。

4 読み取り結果を確認する

読み取った文字に下線が付いて表示されます。読み取った文字が間違っていないか確認します。

- 読み取りをやり直す場合は(CLR)を押します。
- 文字を修正せずに登録する場合は手順7へ進みます。



テキスト読取結果確認画面

5 ●を押して修正したい文字を選ぶ▶変換候補の番号を押す

- 変換候補はそれぞれの文字に最大4つまで表示されます。
- 変換候補以外の文字などに修正したい場合は、修正したい文字を選んで✉(文字)を押し、「英字入力モード」または「数字入力モード」に切り替えて文字を入力します。ただし、(米)による「.ne.jp」や「.co.jp」などの文字入力はできません。

6 ●(確定)を押す

読み取った文字が確定します。

- 文字を結合させる場合は、手順2～手順6を繰り返します。
- 確定を解除する場合は、(CLR)を押します。

7 (機能)▶登録

読み取った文字が登録されます。

- 読み取った文字に「tel」「@」「http://」などが含まれる場合は、文字を選択することによってPhone To機能やWeb To機能などが起動できます。(P.164参照)ただし、複数ある場合でも、最初の1つ目のみ選択できます。
- ✉(上書)を押すと、読み取り結果を上書きしてテキストリーダーを起動します。手順2へ進みます。

テキスト読取結果画面

お知らせ

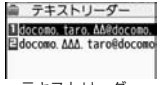
- 読み取り中は、FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- 読み取りできる文字は、英字(大文字・小文字)、数字、記号(# & ( ) ー . / : @ [ ] _ ¯ ? = % +)です。漢字やひらがなどは読み取りできません。また、周囲の照明などの状況によっては、正しく読み取りできない場合があります。
- 手書きの文字は正しく読み取りできません。
- FAXされたものやコピーしたもの、デザインされた文字や文字の間隔が一定でないもの、文字と背景が区別しにくいものなどは、正しく読み取りできない場合があります。

保存データー覧を表示する

1 (MENU)▶LifeKit▶テキストリーダー▶保存データー覧

登録済みの場合は、最初の半角22文字までが表示されます。

- 項目を選択すると、テキスト読取結果画面が表示されます。



テキストリーダー一覧画面

テキスト読取画面・テキスト読取結果確認画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
登録	P.147参照
編集	読み取った文字列を編集して登録します。 ▶文字を編集

機能メニュー	操作・補足
認識モード設定 テキストリーダー起動時 自動設定	読み取りたい文字列の種類に合わせて認識モードを設定できます。 ▶**項目を選択** **自動設定** . . . . . 文字の種類を自動で判別します。 **URL** . . . . . URLを読み取る場合に選択します。登録する際に文字列の先頭を自動で「http://」または「https://」にします。 **アドレス** . . . . . メールアドレスを読み取る場合に選択します。 **電話番号** . . . . . 電話番号を読み取る場合に選択します。 **数字** . . . . . 数字を読み取る場合に選択します。 **フリー文字列** . . . 特に指定せずに英文字を読み取る場合に選択します。
反転モード設定 テキストリーダー起動時 自動設定	読み取りたい文字列の印刷の状態に合わせて反転モードを設定できます。 ▶**項目を選択** **自動設定** . . . . 印刷の状態を自動で判別します。 **無反転固定** . . . 薄い色地に濃い色の文字が印刷されている場合に選択します。 **反転固定** . . . . 濃い色地に薄い色の文字が印刷されている場合に選択します。

テキスト読取結果画面・テキストリーダー一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	▶**文字を編集**
Internet	P.144参照
iモードメール作成	読み取ったメールアドレスを宛先としたiモードメールを作成します。 P.174手順3へ進みます。 ●(✉)(✉)を押してもiモードメールを作成できます。
電話発信	P.145参照
メールアドレス登録	P.82参照
電話番号登録	P.82参照
Bookmark**登録**	読み取ったURLをブックマークに登録します。 ▶**OK** ●「ページタイトル」を選択するとタイトルを編集できます。 ▶**登録したいフォルダを選択**
電話帳検索	読み取った電話番号やメールアドレスを使って電話帳検索を行います。 ▶**検索方法を選択**▶(●) 電話番号やメールアドレスに該当する電話帳の一覧が表示されます。
詳細表示・一覧表示	テキスト読取結果画面とテキストリーダー一覧画面を切り替えます。
削除 **(1件削除)**	▶**1件削除**▶**YES**
削除 **(全削除)**	▶**全削除**▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**